

高等学校

「簿記」 学習指導案

実習生:

(実習教諭:

1. 日時 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 5 時限目
2. 場所 高等学校 1 年 3 組 (男子: 9 名 女子: 31 名)
3. 単元名 現金・預金の記帳 (第 8 章)
4. 使用教科書 『高校簿記』 (実教出版)
『新検定用最新段階式簿記検定問題集 3 級』 (実教出版)

5. 単元目標

- 現金や現金過不足、預金、小口現金に関する取引が適切に処理できるようになる。
- 現金出納帳や当座預金出納帳、小口現金出納帳が作成できるようになる。

6. 生徒観

- 本学級は全体的に明るく活気のあるクラスであり、授業中においても、分からない点があれば周りの生徒と相談して解答を導くことができるような環境が自然と整っている学級である。学力や学習に対するモチベーションについては個人間にやや開きはあるものの、全体的に授業に前向きに取り組んでいる。しかし、簿記に対して苦手意識を持っている生徒が数名おり、そういった生徒に対して留意しておく必要があると考える。

7. 教材観

- 本教材は、簿記上の現金や預金にはどのようなものがあり、現金出納帳や当座預金出納帳といった補助簿の記帳はどのように行うのか、ということについて生徒が理解し、適正な会計処理を行う能力と実践的な態度を身につけるのに適した題材であるとする。

8. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
現金・預金の記帳について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	現金・預金の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	現金・預金の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その基本的な仕組みについて理解している。

9. 単元の指導計画 (全7時間)

	内容	関	思	技	知
第1時	現金勘定、現金出納帳	○		○	
第2時 (本時)	現金過不足①		○		○
第3時	現金過不足②		○		
第4時	当座預金勘定、当座借越勘定、当座勘定			○	
第5時	当座預金出納帳、その他の預金		○		○
第6時	小口現金①			○	
第7時	小口現金②		○		○

10. 本時の展開

(1) 本時の学習内容

○現金過不足①

(2) 本時の目標

○現金過不足の意味を理解し、現金過不足に関する取引が適切に処理できるようになる。

(3) 本時の評価規準

○適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。(思考・判断・表現)

○現金過不足の処理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その基本的な仕組みについて理解している。(知識・理解)

(4) 本時の学習過程

時間	指導内容	学習内容・学習活動	指導上の留意点 評価規準・評価方法
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返り。 ・本時の学習目標の提示および授業の流れの説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金勘定で処理するもの、現金出納帳の記帳法を確認する。 ・本時の学習目標を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初にプリントを配布する。
展開① (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・現金過不足とは何か。 ・現金過不足の処理方法①②③を、例題を同時に用いて説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント上段を記入し、現金過不足について理解する。 ・実際有高く帳簿残高の場合の処理方法①②③を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P68 の図に加え、小遣い帳や家計簿と財布の中身の例から、現金過不足を補足説明する。 ・P68、仮勘定にマーカー。 ・発問 (挙手制) 「帳簿残高 (小遣い帳や家計簿の残高) と、実際の

			<p>残高（財布の中身）どちらが正しいと思う？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントの①②③の説明部分にマーカーを引かせる。 ・仕訳の説明の際、勘定科目を書く順番に注意させる。 ・Tフォームを用いながら説明する。
展開② (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 P43、10-3 を解くよう指示。数分経過後、発問しながら解答、解説を行う。発問 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 P43、10-3 を解く。その後、解答を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視を行う。 ・現金過不足の処理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その基本的な仕組みについて理解している。(知識・理解)
展開③ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでプリントの演習問題を話し合いながら解くよう指示。数分経過後、発問しながら解答、解説を行う。発問 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の席の人とペアになり、プリントの演習問題を話し合いながら解く。その後、解答を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。(思考・判断・表現) ・解説時は前回の振り返りをしながら行う。
まとめ (2分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りおよび、本時の学習目標が達成できたか確認。 ・次回授業のアナウンス。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習目標が達成できたか確認する。 	

1 1. 使用教材

○教科書、問題集、プリント。

1 2. 板書計画

○別紙参照。